

## 教育の方法と技術（情報通信技術の活用を含む）

[講義] 第2学年 後期 選択 教職必修 2単位

《担当者名》○白石 淳 [jun-jun@hoku-iryo-u.ac.jp] 逢見 稔嗣（非）

### 【概要】

高校において学習指導をする際に必要な「教育の方法・技術（学習指導のあり方、学習環境、話法、板書、発問・指名、学習評価、学習指導案の作成方法他）」、「情報通信技術の活用・指導法（機器の使用、学習指導、校務推進、情報モラル他）」を、具体的な事例等をととして学修する。

### 【学修目標】

子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な「教育の方法及び技術」「情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進及び生徒に情報モラルを含む情報活用能力を育成するための指導方法」に関する基礎的な知識・技能が身に付き、模擬授業、教育実習において授業ができるようになる。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	教育方法の基礎的理論と実践の理解	教育方法と技術を学ぶことの基礎的論理と理解、カリキュラムの意味（含コアカリキュラム他）、PDCAサイクル	白石
2	授業を構成するために必要な要件と授業の構造	学習指導における要素(教材、学級、生徒、教員、教室、学習指導案、教育方法・技術、情報機器の活用)、授業に適した方法(集団・個別、教室の配置他)	白石
3	主体的・対話的で深い学びの実現のための方法・技術	主体的・対話的で深い学びの意味、アクティブ・ラーニングによる教育方法	白石
4	学習指導案と指導技術(1)	学習指導案の役割、指導計画、目標・展開、学習形態	白石
5	学習指導案と指導技術(2)	授業の展開、技術(板書、発問、指名、ノート指導他)	白石
6	学習指導案と指導技術(3)	授業の展開、技術(アクティブラーニング)	白石
7	学習指導案と指導技術(4)	効果的な教材の作成、学習評価、個別のニーズにあわせた指導	白石
8	情報通信技術の活用の意義	情報通信技術の活用の意義	白石
9	情報通信技術の活用の理論、ICT環境の整備	情報通信技術の活用の理論とあり方、ICT環境の整備のあり方	逢見
10	情報通信技術の効果的な活用(1)	活用の実際、機器の使用法、オンライン教育の意義とシステムの指導法	逢見
11	情報通信技術の効果的な活用(2)	教育データの活用、学習評価、セキュリティ、校務における活用	逢見
12	情報活用能力を育成するための指導法(1)	情報活用能力の指導法の実際、小テスト	逢見
13	情報活用能力を育成するための指導法(2)	情報活用能力(情報モラルを含む)の指導法	白石 佐藤英明(特別講師)
14	情報通信技術を活用した学習指導の実際	学習指導の実際と留意事項	白石 北村大器(特別講師)
15	遠隔・オンライン教育のシステムの使用法、小テスト	ICTの使用法(操作)、小テスト	白石

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

小テスト50%、課題の提出状況（ワークの取り組み状況を含む）50%による評価

**【教科書】**

高等学校教科用図書「公共」 清水書院  
高等学校学習指導要領 東山書房  
高等学校「公共」ワークノート 清水書院

**【参考書】**

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 高等学校公民 東洋館出版  
高等学校学習指導要領解説 公民編 東京書籍  
ネットトラブル未然防止の資料 北海道教育委員会  
各教科等の指導におけるICTの効果的な活用に関する参考資料（  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/mext\\_00915.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_00915.html)）  
各教科等の指導におけるICTの効果的な活用に関する解説動画（  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/detail/mext\\_00941.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00941.html)）

**【学修の準備】**

予習：次回の授業範囲の教科書を読んで理解しておくこと及び授業終了時に指示する課題を行うこと（80分間）。  
「教科用図書の指定箇所を読む」「学習指導要領の指定箇所を読む」「授業の計画を考える」「学習指導案の計画を考えて作成する」に関する事項を指示する。  
復習：授業で行った教科用図書の箇所を読み、授業展開の工夫を考え深めること（80分間）。

**【免許法施行規則に定める科目区分等】**

「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の「教育の方法及び技術」及び「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」に該当する。

**【実務経験】**

白石淳（高等学校教諭）、逢見稔嗣（高等学校教諭及び校長、道教育研究所情報処理センター）

**【実務経験を活かした教育内容】**

高等学校教諭、校長等としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な内容を含みながら講義を行う。